



東京都北区立

令和6年度 学校要覧

# 滝野川小学校



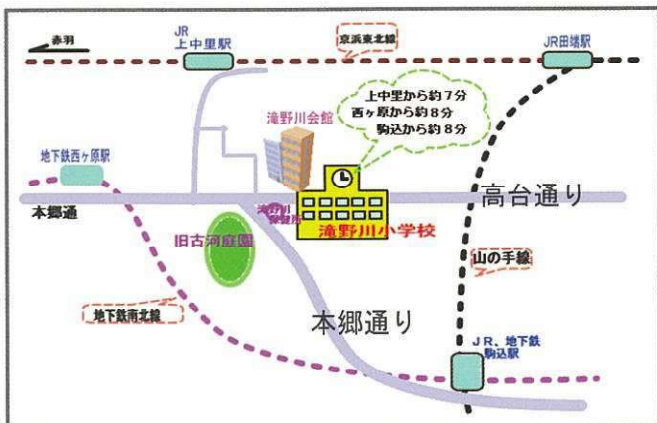
## 校歌

作詞 栗山 博  
作曲 井上 武士

一 富士の嶺遠く 仰ぎつつ  
みどりの丘に 築きたる  
古き歴史の 幾十年  
輝く光 みなぎりて  
わが 滝野川小学校

二 正義と真理 めざしつつ  
幼さいのち 満ちみちて  
雄々しき日々の 歩みこそ  
遙かの空に とどろかん  
ああ 滝野川小学校

三 香りも高き 武蔵野の  
野に広がりて 育ちゆく  
心の園に 愛と知の  
永久に流れて ゆたかなれ  
ああ 滝野川小学校



## 東京都北区立滝野川小学校

Takinogawa Elementary School

〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-18-10

TEL 03-3910-3703 (職員室)

03-3910-4760 (事務室)

03-3910-5619 (特別支援学級)

03-3910-0891 (情緒等巡回学級)

FAX 03-5567-4519 (職員室)

■ 滝野川小学校の目指す学校像 ■



**(1) 児童が笑顔で生き生きと学ぶ学校**

- 児童が日々の学校生活の中に充実感をもち、自己有用感・自己肯定感を高め、将来への夢や希望をもてる。
- 学習活動を通して、学ぶ楽しさ・深める喜びを児童が実感できる。
- 困難に立ち向かうたくましさと思いやりの心を育む。
- 児童一人一人がよさや可能性を十分に発揮し、互いに認め合い、高め合う。

**(2) 教職員がやりがいをもって働く学校**

- 深い使命感と熱意、児童に対する愛情をもって教育にあたる。
- 教育のプロとして常に研鑽に励み、厳正に服務にあたる。
- 教職員が児童から学び、児童と共に成長を続ける。
- 教職員一人一人がもてる力を十分に発揮し、和を大切に、協働して教育活動に取り組む。

**(3) 保護者が通わせてよかったと思える学校**

- 保護者が我が子の成長を実感できる。
- 保護者が我が子を安心して通わせ、保護者から信頼を得る。
- 学校と家庭が協力して児童の育成にあたる。

**(4) 地域と共に歩む学校**

- 地域の児童を地域と共に育み、地域に貢献する児童を育てる。
- 地域の人材や地域の教材を学習に活用し、地域のよさを児童が感じる。
- 教職員や保護者が地域行事にすすんで参加し、地域に貢献する。

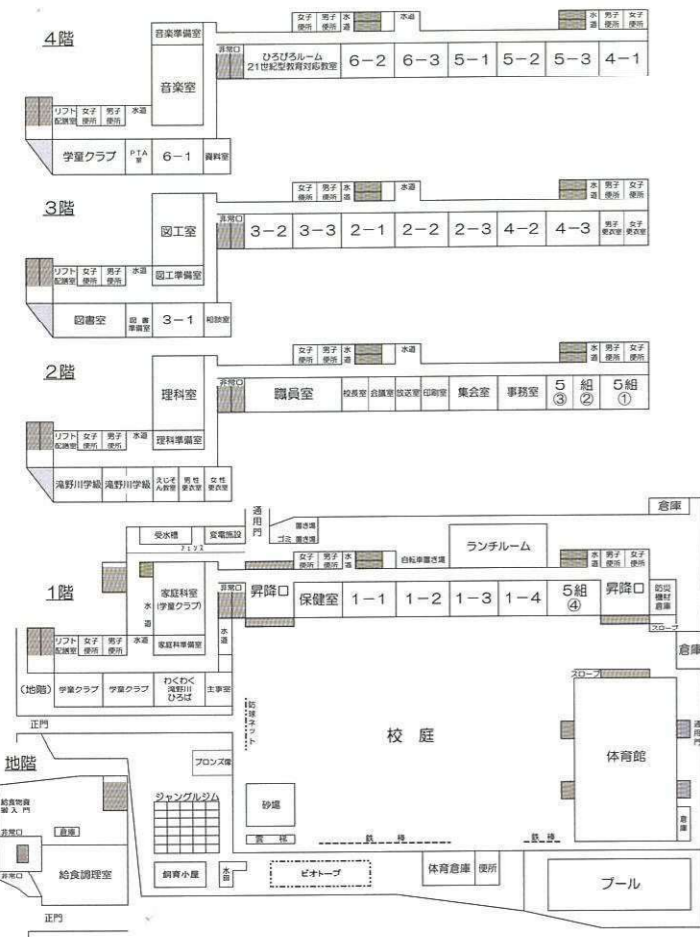
■ 今年度の重点目標 ■

今年度の取組目標と重点目標 「一人を大切に 一人も残らず幸福に」		
【根気よく】(知)	【仲良く】(徳)	【元気で】(体)
児童の主体的・対話的で深い学びを保障する不断の授業改善	自他を大切にする道徳教育の充実	運動に親しみ体力向上を図る体育の実施
総合的な読解力を高め、学びと社会をつなげるNIEの実践	児童の自己実現を図る特別活動の充実	自らの健康安全に関心をもち主体的に実践する健康教育
個別最適な学びと協働的な学び実現のための一人一台端末の効果的な活用	児童の心に寄り添う教育相談活動の充実	家庭と連携した基本的生活習慣の定着
<p>★すべての児童の学びを保障するユニバーサルデザインの実践</p> <p>①誰もが「学ぶ楽しさ」「深める喜び」を味わえる学習指導の充実</p> <p>②誰もが自分に自信をもてるよう、豊かな心と逞しく健やかな体を育む指導の充実</p> <p>③個のニーズに応じた特別支援教育の充実</p> <p>④保護者、地域と連携し、開かれた学校を目指す</p> <p>⑤教員の資質能力の向上</p>		

■ 校舎平面図 ■

- 所在地 東京都北区西ヶ原1-18-10  
北緯35度44分 東経139度45分(屋上東階段屋根上)
- 面積 ①校地面積 7,522.61㎡  
②延べ床面積 6,664.60㎡

滝野川小学校 令和6年度教室配置図 令和6年4月～



■ 主な年間行事 ■

- 始業式 入学式  
定期健康診断 対面式  
1年生を迎える会  
区・基礎基本調査(2～6年)  
国・学力調査(6年)  
写生会(4・5・6年)  
個人面談  
特別支援学級新入生・転入生を迎える会  
交通安全教室(1・2年)
- 4月**  
消防写生会(2年・5組)  
水道キャラバン(4年)  
離任式  
運動会  
こころの劇場(6年)
- 5月**  
SOSの出し方に関する教育(6年)  
体力テスト  
プール開き  
租税教室(6年)  
音楽鑑賞教室(6年)  
岩井自然体験教室(5年)
- 6月**  
社会科見学(6年)  
自転車安全教室(3年)  
児童引き渡し訓練  
つれざり防止教室(1・2年)  
日生劇場(4年)  
着衣泳(3～6年)  
夏季休業日(始)  
夏季水泳指導 個人面談
- 7月**  
日光高原学園(6年)  
夏季休業日(終)
- 8月**  
写生会(123年・5組)
- 9月**  
那須移動教室(4年)  
スクールコンサート  
1学期終業式  
秋季休業日  
2学期始業式  
学校保健委員会  
開校記念日(18日)  
北区環境展  
特別支援学級那須宿泊学習(5組)  
就学時健康診断  
アスレチックチャレンジ(5・6年)
- 10月**  
お話の会  
遠足(3年)  
社会科見学(4年)  
遠足(1・2年)  
展覧会
- 11月**  
社会科見学(5年)  
校外学習(5組)  
中学校体験(6年・5組)  
社会科見学(3年)  
個人面談(6年・5組)  
道徳授業地区公開講座  
冬季休業日(始)
- 12月**  
冬季休業日(終)  
書き初め展  
北区連合展覧会鑑賞(4年)  
セーフティ教室(456年・5組)  
北区学校ファミリーの日  
新1年生保護者会
- 1月**  
特別支援学級卒業生を送る会  
6年生を送る会
- 2月**  
卒業を祝う会  
卒業式  
修了式  
春季休業日(始)
- 3月**

令和6年度 生活時程表 北区立滝野川小学校

★：チャイム

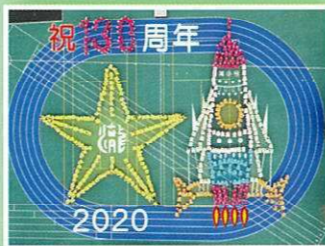
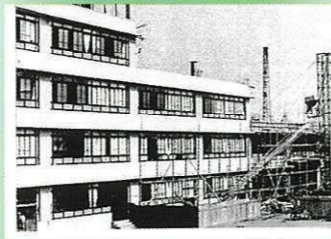
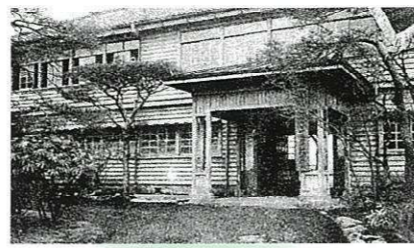
時程	月	火	水	木	金	土	細雑
★開門 8:10							★8:10
8:20	登校時間						★8:20
8:25	全校朝会	1～4年朝読書 ・56年外国語	朝の会 健康観察	音楽朝会 体育朝会 児童集会	NIEたいむ	朝の会 健康観察	8:25
8:40	朝の会・健康観察			朝の会・健康観察			
8:45	1		8:30			8:30	8:30
9:30			9:15			9:15	9:15
9:35	2		9:20			9:20	9:20
10:20			10:05			10:05	10:05
★10:37	中休み						★10:22
10:40	3		10:25			10:25	10:25
11:25			11:10			11:10	11:10
11:30	4		11:15			11:25	11:15
12:15			12:00			最終下校	12:00
1:00	給食						12:45
★1:12	低学年昼休み 高学年清掃	低学年昼休み 高学年清掃	低学年昼休み 高学年清掃	低学年昼休み 高学年清掃	低学年昼休み 高学年清掃	低学年昼休み 高学年清掃	★1:02
1:15	低学年清掃 高学年昼休み						★1:32
1:35	5		1:05			1:05	1:05
2:20			1:50			1:50	1:50
2:25			最終下校			56年朝読書	2:05
2:25						2:35	2:35
2:35						委員会活動	2:40
3:10						56年朝読書	3:10
3:25							3:25
3:40	最終下校						3:00

※については、56年生が火曜朝に外国語が実施できない場合(安全指導、読み聞かせ)に、火曜清掃時間に外国語を行う。



## 沿革の概要

- 明治 23年 10月18日 開校式 2階木造 4教室 職員3名  
 25年 初代校長 相沢栄二郎就任  
 34年 4教室 計12教室  
 児童数 尋常272名 高等102名 計374名  
 田端分教場設置(明治42年滝野川第一小学校独立)  
 滝野川分教場設置(明治42年滝野川第二小学校独立)
- 大正 3年 2代校長 山崎菊次郎就任  
 4年 教員19名 飛鳥山分校設置(大正6年滝野川第三小学校独立)  
 14年 滝野川第五小学校創立により児童分割
- 昭和 3年 滝野川第七小学校創立により児童分割  
 5年 滝野川第八小学校(現在の西ヶ原小学校)創立により児童分割  
 10年 滝野川東高等小学校(現在の田端中学校)創立により児童分割  
 12年 3代校長 江口茂吉就任  
 14年 滝野川西高等小学校創立により児童を移し、高等科を廃止  
 校名を滝野川尋常小学校と変更 創立50周年記念式典を挙行  
 16年 国民学校令により滝野川国民学校と校名を変更  
 18年 プール新設  
 19年 集団疎開学園開設  
 20年 同学園廃止に伴い引き上げ 18学級を編制  
 22年 東京都北区立滝野川小学校と校名変更  
 23年 4代校長 堀口雅治就任  
 24年 創立60周年記念式典挙行  
 28年 校歌制定(作詞 栗山 博 作曲 井上武士)  
 29年 滝野川第七小学校再設置により児童分割  
 31年 5代校長 榎本弥四郎就任  
 34年 創立70周年記念式典挙行  
 35年 特殊学級(現特別支援学級)開設  
 36年 6代校長 加藤八左衛門就任  
 41年 鉄筋4階校舎(11教室)落成  
 42年 鉄筋4階校舎(9教室・調理場)落成  
 43年 鉄筋4階普通教室7教室 特殊2教室 玄関1落成  
 44年 7代校長 田口春雄就任  
 屋内体育館落成 創立80周年記念式典挙行 校舎落成記念式典挙行  
 47年 校庭植樹・正門・通用門・花壇設置・校庭舗装・体育館渡り廊下屋根完成  
 49年 8代校長 仁保喜内就任  
 52年 9代校長 市川卓蔵就任  
 53年 新校舎落成記念式典挙行(普通教室8教室・特別教室6教室・給食調理室)  
 54年 創立90周年記念式典挙行  
 55年 10代校長 大塚茂雄就任  
 57年 東京都健康努力学校受賞(東京都教育委員会)・東京都保健優良校受賞(東京都学校保健会)  
 58年 11代校長 広瀬英二就任  
 59年 全日本健康優良学校表彰会より健康優良校全国優秀校受賞  
 61年 12代校長 中島敬太郎就任  
 平成 2年 13代校長 金子達英就任 創立100周年記念式典挙行  
 5年 14代校長 谷田部壽雄就任  
 6年 全日本よい歯の学校・東京都よい歯の学校受賞  
 8年 15代校長 大崎美代子就任  
 外国語図書読み聞かせ事業実施  
 9年 NIE研究授業・研究協議会会場校  
 10年 校庭改修工事・パソコン室新設・コンピュータ(20台)  
 11年 16代校長 家田晴行就任  
 12年 創立110周年記念式典挙行  
 13年 全日本学校歯科保健優良校受賞  
 14年 東京都教育委員会職員表彰学校受賞  
 16年 17代校長 林 四郎就任  
 校舎・体育館耐震補強工事・ひろびろルーム完成  
 17年 東京都小学校理科教育研究会研究発表会場校 滝野川寺子屋開設  
 18年 二期制導入 放課後ひろば開設  
 20年 滝野川学級(情緒等通級学級)開設  
 22年 全国小学校理科研究大会東京大会・北区教育委員会研究協力校 研究発表会  
 創立120周年記念式典挙行  
 23年 北区教育委員会研究協力校「理科・生活科」(22~23年度)研究発表会  
 屋上緑地化工事  
 24年 東京都教育委員会職員表彰学校受賞  
 25年 18代校長 関口修司就任  
 26年 図工室エアコン設置工事 理科室机入替工事 校舎外壁塗装工事  
 26年 東京都小学校新聞教育研究会研究大会会場校  
 27年 北区教育委員会研究協力校「自ら問題を見付け、共に学び合って解決する児童の育成」  
 -NIEの日常化と教材開発を通して- (全教科・領域) 研究発表会  
 文部科学省教育課程特例校「海育科」(~29年度)  
 28年 19代校長 大瀬浩之就任  
 放課後子ども総合プラン「わくわく滝野川ひろば」開設  
 29年 北区教育委員会研究指定校 文部科学省教育課程特例校「海育科」  
 研究発表会(王子桜中・東十条小)  
 30年 谷村基金による和太鼓購入  
 令和 元年 リフレッシュ工事1期着工(体育館空調設備、教室・トイレ改修)  
 2年 リフレッシュ工事2期着工(体育館照明設備、教室・校庭改修)  
 創立130周年記念式典挙行  
 3年 青少年赤十字加盟  
 5年 20代校長 市川由紀絵就任  
 6年 北区教育委員会研究協力校「自ら問題を見付け、共に学び合って解決する児童の育成」  
 -NIEの日常化と教材開発を通して- (4,5年度) 研究発表会



写真提供(株)フォトスタッフ

## 学校職員および児童数 (令和6年7月1日現在)

校 長	市川由紀絵
副 校 長	小林 謙二
1 年 1 組	砂川 恵子
1 年 2 組	山田 利恵
1 年 3 組	岡 朱音
1 年 4 組	三ツ矢和仁
2 年 1 組	高安 理加
2 年 2 組	峰岸 優子
2 年 3 組	山田 詩織
3 年 1 組	高草木輝子
3 年 2 組	町田 祐作
3 年 3 組	森田 萌
4 年 1 組	久田 裕美
4 年 2 組	大谷 愛
4 年 3 組	田中 希
5 年 1 組	飯田 幸子
5 年 2 組	岩田健太郎
5 年 3 組	寺田 雅菜
6 年 1 組	川名 和人
6 年 2 組	篠田 茜
6 年 3 組	日高 泰人
5 組	上原 香
5 組	高山 信義
5 組	佐藤 歩
5 組	長友 裕太
算数少人数	豊田 剛志
音 楽	大川 敦子
図 工	石川奈保子
特別支援教室	山崎 章義
特別支援教室	上口絵里奈
特別支援教室	堀田 桂子
特別支援教室	渡邊 由果
特別支援教室	清水 希
養 護 教 諭	多田 早苗
事 務 主 事	長谷川直子
栄 養 士	奈良岡かり
特別支援教室専門員	水落可奈子
都 講 師	渥美 恵子
都 講 師	栗原 陽子
都講師/校内別室支援員	狩野 佳奈
都講師/特支交流講師	黒沢恵理子
学力PU講師	並木 裕子
学力PU講師	神田 治子
学力PU講師	渋谷 泰史
学級経営支援員	堀 明浩
特支交流講師	添野恵里子
特支交流講師	加藤 尚代
特別支援教育巡回指導講師	大野富士江
巡 回 心 理 士	鈴木 知美
理 科 支 援 員	瀬田 和明
都 S C	小林 友也
区 S C	島袋 史奈
教員事務補助員	関口 信行
教員事務補助員/校内別室支援員	斉藤 理世
学校事務補助員	本田 春美
学校図書館支援員	伊藤 篤子
ICT支援員	櫻井 蓮
A L T	Jun Yoshizawa
A L T	Marilou Abon Baysa
用 務 主 事	小林 実
用 務 主 事	藤田 文代
用 務 主 事	河野 淳一
交 通 指 導 員	古橋 勘一
交 通 指 導 員	布施 民江
交 通 指 導 員	磯部 聖史
交 通 指 導 員	笹崎 邦治
育 休 中	鈴木 里菜
育 休 中	嶋原 慧菜

	男子	女子	合計
1 年	15	14	29
	15	14	29
	16	13	29
2 年	16	14	30
	12	22	34
	11	22	33
3 年	13	20	33
	13	19	32
	13	19	32
4 年	15	16	31
	15	16	31
	15	16	31
5 年	11	13	24
	12	12	24
	11	12	23
6 年	16	13	29
	17	12	29
	17	12	29
5組	14	5	19
合計	279	306	585

- 教務主任 豊田 剛志
- 生活指導主任 岩田健太郎
- 保健主任 多田 早苗
- 研究主任 町田 祐作
- 特活主任 田中 希
- 道徳主任 高安 理加
- 図書主任 砂川 恵子
- 特支学級主任 上原 香
- 特別支援教育コーディネーター
- 情緒学級主任 山崎 章義

## 学校医・薬剤師

内 科	青木 薫
歯 科	箕浦 孝昭
眼 科	神立 敦
耳鼻科	栗山 純一
薬剤師	谷川 和子

## スクール・コーディネーター

梁川 真澄
松原 望

## 校庭開放指導員

堤 弘
五十嵐 美和子

## PTA役員

会長	山口 智治
会長補佐	渋谷 直毅
副会長	小塚 慎子
//	山崎 香織
//	増田はす美
//	早坂 裕史
書記	清水榮美子
//	近森 拡充
会計	山崎 知子
//	夏堀 美絵
会計監査	久留宮優香
//	齋藤 京子

## 給食委託調理業者

(株)レクトン

## 用務委託業者

(株)セイコー

## 学校評議員

前スクールコーディネーター	湊 恵理子
青少年西ヶ原東地区委員会 会長	渋谷 昭仁
西ヶ原地区 主任児童委員	橋本 雅美
立正大学心理学部 教授	所澤 潤
石川幼稚園 園長	石川 千世
田端児童館 館長	柳沼 智宏
前PTA会長	橋本 修一
PTA会長	山口 智治

児童の実態

- ・基礎的基本的な知識や技能は概ね身に付けているが、個人差が大きく、一部の児童だけで授業が進む。
- ・集中して授業に取り組むことが難しい児童がいる。
- ・生活や学習で見付けた新しい問題に対して既習事項や生活体験から、自分なりの考えをもって、解決しようとする姿が見られる。一方で考えがもてない、考えたことを表現することができない児童がいる。

本校の教育目標

**元気で**  
心身ともに健康で情操豊かな子ども

**仲良く**  
きまりを守り互いに助け合う子ども

**根気よく**  
よく考え最後までやりぬく子ども

一人を大切に 一人も残らず幸福に

社会の要請

- ・主体的、対話的で深い学び (H29.3 公示 学習指導要領)
- ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」 (R3.1 中教審答申)
- ・子供の可能性を最大限に引き出す学びの基盤作り (北区教育ビジョン2024)
- ・東京都教育ビジョン (第5次) (R6.3)

研究主題

自ら考えをもち、表現する児童の育成  
～思わず言葉があふれ出す授業作り～

目指す児童像

	自ら考え	表現する
1年	写真や具体物などからイメージをつかみ、自分なりの考えをもつ。	相手に応じて話したり、書いたりできる。
2年	写真や具体物などからイメージをつかみ、順序立てた考えをもつ。	相手に応じて話したり、書いたりできる。
5組	写真や具体物などからイメージをつかみ、自分の生活とつなげて考えをもつ。	考えを整理して話したり、書いたりできる。
3年	根拠を基に筋道立てて考える。	目的に応じて話したり、書いたりできる。
4年	根拠を基に筋道立てて考え、考えをまとめる。	目的に応じて話したり、書いたりできる。
5年	他者との交流を基に筋道立てて考え、自分の考えを広げる。	他者との交流を基に話したり、書いたりできる。
6年	他者との交流を基に筋道立てて考え、自分なりの結論をだす。	他者との交流を基に話したり、書いたり、必要に応じて加筆・修正したりできる。

研究の仮説

国語科の授業作りを通して、誰もが「わかる・できる」授業のユニバーサルデザイン化を目指す指導の工夫をしたり、学習環境を整備したりすることで、教室にいる誰もが授業に主体的に参加し、考えを表現し合うことができるだろう。

研究の内容

ユニバーサルデザイン化された授業作り

自ら考えをもちのために	表現するために
聞くだけの時間を減らし、考え、伝える時間を増やす	
焦点化：目標や発問、活動をしぼる工夫	
視覚化：授業の情報を見えるようにする工夫	
共有化：児童同士で行う活動の工夫	
スモールステップ化：達成までのプロセスに細かな段階を設ける工夫	
しかけ：教えたことを子供の学びたいことに転化させる工夫	
展開の構造化：情報の内容の質と量を調整する工夫	

学習環境の整備

**場の構造化**  
道具の整理整頓・管理

**刺激量の調整**  
視覚・聴覚刺激の軽減  
集中できる座席の配置

**ルールの明確化**  
授業中の約束の掲示  
みんなで共有する手立ての掲示

**時間の構造化**  
手順・行程・内容の明示  
一日の予定の掲示

**相互理解の促進**  
「わからない・助けて」の言える学級  
失敗から学び合い支え合う学級